

平成25年1月28日

## 白書や統計などの公表データがより一層活用しやすくなります

～オープンデータ実証用サイト「Open DATA METI」(β版)の公開～

経済産業省は、本日、オープンデータを実現していくための実証用サイト「Open DATA METI」(β版) (<http://datameti.go.jp>)を公開します。

この取組は、経済産業省が保有している白書や統計などの公表データを、これまで以上にビジネスなどの民間での利活用につなげるため、より加工しやすい形で保有データを公開するものです。

### 1. オープンデータについて

政府が保有する公共データは、ホームページなどを通じて公表されていますが、データの機械判読ができず人手で再入力する必要があるなどの加工が困難なケースや、行政機関ごとにフォーマットが異なり情報の収集や整理に多くの時間が必要とされるケースがあり、民間での利活用を制限していることが課題として指摘されています。

経済産業省では、これらの課題を解決し、公共データを加工しやすい形で提供すること(オープンデータ)で、様々な新ビジネスの創出や企業活動の効率化等を促し、我が国全体の経済活性化を図っています。

### 2. 「Open DATA METI」サイトについて (<http://datameti.go.jp>)

オープンデータの取組は、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成25年1月11日閣議決定)にも記載されていますように、政府全体で進められています。

その中で、経済産業省は、オープンデータを先行して行い、得られたノウハウを政府全体へ共有することで、政府全体のオープンデータの促進を図っています。

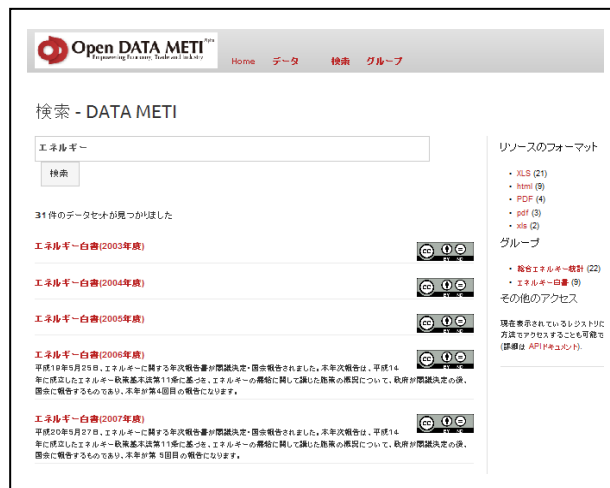
本日公開するOpen DATA METIサイトは、こうした経済産業省による先行的取組の一つとして行われるもので、現在経済産業省が公開している公共データの中から、より加工しやすい形で公開することができるデータを集めた特設サイトになります。

「より加工しやすい形での公開」を実現するため、本サイトでは、現在次のような対応をしています。

これらの対応や本サイトで公開する対象データは、ユーザからの意見などに基づき、適宜改善・拡充していくことで、政府全体のオープンデータを実現していくためのノウハウを蓄積していきます。

- ◇ クリエイティブ・コモンズ(下記参照)を利用して、データの利用の可否をわかりやすく表現しています。これまでデータを利用する前に必要だった「提供元への承諾」や「著作権の帰属先の確認」といった手続きを省略できるようになりました。
- ◇ 各行政機関が保有する公共データの場所が明らかになるように、対象データが一覧できるデータカタログを作成。

### <Open DATA METI サイト>



### 参考:クリエイティブ・コモンズとは

- ◆ 作者が自らの作品に対して、「この条件を守れたら自由に使用可」という意志表現をするためのツール。
- ◆ 国際的非営利組織により提供されており、権利者は4種類のマークで示される条件を取捨選択して使用する。
- ◆ メタデータも組み込まれているため、条件別のコンテンツ検索も可能。
- ◆ 豪、NZ、米国 WhiteHouse などで利用。英・仏でも相互互換性を担保したライセンスを利用。

	表示		非営利		改変禁止		継承
	作品のクレジットを表示すること		営利目的での利用をしないこと		元の作品を改変しないこと		元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること

(本発表資料のお問い合わせ先)  
 商務情報政策局情報プロジェクト室長 岡田 武  
 担当者: 中井康裕、古川武秀  
 電話:03-3501-1511(内線 3951~3958)  
 03-3501-2964(直通)